

バス研修 その2（よこはま動物園ズーラシア / 相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら）

バス研修 その3（地質標本館 / 高エネルギー加速器研究機構）

8月29日、バス研修を実施しました。

第2回目となる今回は、神奈川方面と筑波方面に分かれて、訪問させていただきました。

神奈川方面は、よこはま動物園ズーラシアと相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはらに訪問させていただきました。よこはま動物園ズーラシアでは、バックヤードツアーに参加し、主に象舎について学習しました。象舎に入り、飼育員の方から貴重なお話を聞くことができました。相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはらでは、相模川の魚などについて学習しました。科学研究部生物班の生徒も参加しており、野川との環境の違いなどを学ぶことができました。

筑波方面は、地質標本館と高エネルギー加速器研究機構に訪問させていただきました。

地質標本館では、約1時間のレクチャーののち、館内の自由見学を行いました。「地質標本」という言葉からは想像ができないような、地球の年齢や隕石のお話、氷期・間氷期のサイクルと地盤強度のお話、プレートテクトニクスと火山活動、富士山のお話などを聞き、様々な現象を関連付けて学ぶことができました。高エネルギー加速器研究機構では、現代物理学の最先端のお話を、リニューアル中の実験機器の説明とともにうかがうことができました。素粒子の種類や検出方法、粒子・反粒子の性質などについて、質疑応答の中で詳しくうかがうことができました。どちらの施設での体験も、今後の学習の動機づけになったと思います。

